

# 田村市指定有形民俗文化財

え ま にゆうぎゆうほうぼく ず  
絵馬「乳牛放牧の図」



明治12（1879）年に八幡神社に奉納された縦52センチ×横120センチの絵馬で、乳牛を飼育している様子を描いた図柄は珍しく貴重なものです。

絵師の新田寛耕（にったかんこう）は地元戸ノ内の人で、三春藩の絵師 中村寛亭の弟子であり、また、最上流和算家 佐久間庸軒のもとで和算を学ぶなど教養を積んだ文化人でした。寛耕が描いた絵馬は堂山王子神社などにも見られます。

なお、八幡神社の創建については不詳ですが、天正年間（1573～1592）頃に鎮座したと伝わります。